

# はじめ通信

HAJIME TSUSHIN

佐々木 紀 後援会機関紙 Vol. 4



政権奪還  
して以来、こ  
れまでの民主党政  
権に比べ驚くほどのスピード  
で経済状況が好転し、株価や有効求人  
倍率などの指数も軒並み伸びました。  
一方、消費税を8%に増税したこと  
で、やや景気回復のスピードが鈍り始  
めたため、政府・与党は増税の延期  
を決定し、民意を問いました。その後、  
日本経済は再び回復の動きを取り戻  
しています。しかし、景気回復の実感を  
まだ地方では十分に感じられないこと  
も事実であり、大都市で先行した経済

の明るい兆しをこれからの早く地  
方の隅々まで行き渡らせるか、まさに  
アベノミクスの正念場です。  
わが国には地方創生をはじめ、国  
民の思いを確認しながら取り組むべき  
課題が山積していますが、先の衆院  
選は残念ながら全国的に低い投票率  
でした。その理由をひと言では論じら  
れませんが、政治がわかりにくくて関  
心を持たないという人も少なくない  
と思います。複雑な仕組みや重要な法  
案がどのように審議され、進められて  
いるのか、皆様に丁寧に説明してい  
くことが、政治家の大切な義務の一つ  
であると私は思っています。  
2期目も、ふるさとの皆様との対話  
を重ね、政治への信頼と関心をもっ  
ていただけるよう全力でまい進いたし  
ます。強い日本、豊かなふるさとを、  
皆様とともにめざしましょう。

二期目への決意  
昨年未は急な解散・総選挙となり、  
皆様には大変お世話になりました。お  
かげさまで大きなご支持をいただき、  
2期目を力強くスタートすることがで  
きましたことを厚く御礼申し上げます。  
目下、2期目最初の通常国会となる第  
189回国会に臨んでいます。  
選挙戦の大きな争点はアベノミクスへ  
の評価でし  
た。自公連  
立政権が

二期目への決意  
信頼される政治家をめざして

初心を忘れず 決意新たに  
2期目が始動!



## 《ここにしか咲かない花》

松任地区を訪ねた時に、鮮やかな色の花に出会いました。「松任芽」という福寿草で正月に咲く早咲きの貴重な品種。藩政時代から愛好家たちの手で大切に栽培されてきました。松任地区の風土がこの花の生育に適しているといわれ、保存会のメンバーの人たちが《ここにしか咲かない花》と誇りにされていました。咲き始めは薄く透明感のある花びらが、徐々に色濃くなります。5年にわたり蓄積されてきた生命力で一気に咲き誇り、10日間ほどで花の時期が終わるそうです。「幸福を招く」と親しまれている花の写真を、皆様のご多幸を祈りつつお届けします。



ふるさと  
東奔西走

ふるさとでの生活感をともにし、  
多くの皆さんと話し合う—  
地方の元気を作り出す  
国政活動は、そこから始まる。

編集後記

昨年末は佐々木はじめにとって初めての解散・総選挙。暮れの多忙な時期にもかかわらず皆様には力強いご支援を賜り、深く感謝いたします。国政の現状を地元によりやすく丁寧に伝え、できるだけ多くのお声をお聞きする姿勢を貫く決意の佐々木代議士。その思いをサポートできる機関紙づくりをめざしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一枚の写真

小学校の運動会で、先頭に立つてチームを引っ張っている写真です。同級生によれば、小さい頃からリーダー的存在だったとか。大人のように落ち着いた様子が仲間の信頼を集めた理由の一つのようでした。主人の母は「どんな子だった？」の問いにひと言、「オジサンくさい子」。主人の名前のために少し言い換えさせていたのだ、「早くから大人の感覚を身につけていた人」というのは無理でしょうか。みんなに信頼される人—をめざした少年時代の姿勢が、こんちの原型のように思えます。

きょうこ  
～香子夫人が語る佐々木 紀～

# 国政の今を語る。

もう一歩、政治に近づいてください。

第189回通常国会がスタート。

この国会でも数多くの法案が審議されます。政治への関心をより高めていただけるよう、国政の動きを随時丁寧に、わかりやすくご説明していきたいと考えています。

Q 「地方創生」で石川県や加賀地区はどのように変わるのでしょうか。

「地方創生」の取り組みは、予算を地方にバラ撒くのではなく、地方独自の創意工夫を国が支援するものです。従って、どのように地域の魅力を高めて発展に導くかというアイデアを官民一体で考える必要があります。

加賀地区は、歴史と伝統、文化が共存し、また日本のモノづくりを支える企業が集積している魅力的な地域であり、北陸新幹線の金沢開業に伴う経済効果をいかに呼び込むか知恵を結集すべきです。温泉資源をはじめとする観光



対策等で対策等では、人口を増やすことも大切ですが、ふるさとの魅力を再構築

Q 地方の定住人口を増やすための国の施策は？

地方創生のためには、魅力あ

るふるさとづくりのプランが必要ですが、定住人口を増やすことも大切な要素です。高校卒業後の進学では、県外に出る人が6割でその4割は故郷に戻りません。これも地方の人口減少、東京一極集中につながっています。地方で働く場所が増えるように、地方移転した企業に法人税を軽減する施策や、あるいは大手企業に就職した地方出身者を本社勤務と同じ待遇で故郷の支社や関連会社に配属させるよう働きかける取り組みも考えられています。若者が生まれ育った故郷で輝くことができれば、地方創生の大きな力になると思われま

Q 北陸新幹線で金沢より西への延伸が実現する。G15の計画が。

今年に入って敦賀開業を当初の予定より3年前倒しをすることが決定しました。それでも2022年度という先の話。

しかし敦賀―福井間の工事には難題が多く、工期が遅れる可能性も指摘されています。一部に環境保護のラムサール条約で指定された場所がありコース変更

が求められる場合や新北陸トンネルが難工事であることなどが予想されること。さらに敦賀駅で在来線に乗り換える場合、200m移動した上、ビルの8階に相当する高さまで上がる必要があり乗換駅としては不便です。従って敦賀までの一括開業という計画に限ることなく、見通しの立ちやすい金沢―福井間の工事を急いで、この区間を先行開業させることも念頭におくべきです。それは石川、福井両県の地方創生

促進の重要な要素であり、福井県の皆様とも連携して、金沢以西の延伸を急ぎたいと思います。私たちが北陸新幹線は福井県までつながらなければ本当の「かがやき」を放ちません。金沢開業で満足しないよう北陸新幹線のプロジェクトはまだ道半ばであることを訴え続けていくつもりです。



## 佐々木はじめ 地方創生へ 活動報告 現場の声は大きなヒント。

日本とふるさとの未来ビジョンを上げるため、国会の閉会中に全国各地や海外の視察を重ね、現地ならではの状況把握と最新情報の収集に努めています。前回の第186回通常国会閉会から昨年末の解散・総選挙までの活動の一部をご紹介します。



愛知県・豊田市エコタウン視察



サウジアラビア ビジネスマッチングツアー

水素をエネルギーとした燃料電池車など移動手段の開発や関連のインフラ整備、規制緩和など、エコ対策に資する取り組みを促進しなければなりません。

わが国の大切な貿易相手国・サウジアラビアを訪問。ふるさとの発展と日本との友好関係に寄与する新たな交流が深まるよう願っています。



自民党青年局が政策プレゼンコンテストを企画

自民党青年局が企画したコンテストに民間の発想らしい大胆な提案が寄せられました。地方創生の政策につながることを期待されます。



埼玉県・入間基地を視察

山本基地司令は能美市出身で小松高校の先輩。去年まで小松基地司令でした。幅広く活躍される自衛隊の環境整備の必要性を痛感しました。

## 第47回衆議院議員総選挙に挑む！

2014年12月

～ 雨にも雪にも負けず ～



12月2日/公示



雪の白山麓にて

再びの大きなご支援に感動、感謝!!



各地で個人演説会



12月13日/選挙戦最終日 打ち上げ総決起大会



12月14日/全国で最も早い当確が報じられた



議席は当選回数が増えることに、後方へ移動しますので、ベニメン議員の席が後部となります。

新しい議席は左から2ブロック目の前から3列目右端。1期目は2列目でした。



- ・所屬委員会
- ・経済産業委員会
- ・外務委員会
- ・東日本大震災復興特別委員会
- ・原子力問題調査特別委員会
- ・自民党の役職
- ・経済産業部会 副部長
- ・青年局長
- ・商工中小企業関係団体委員会 副委員長

## ●第189回通常国会

平成27年1月26日/開会



## ●第188回特別国会

平成26年12月24日、初登院。

